

この現実^{いしずえ}にわれわれは向き合^{いしずえ}わなくてはならない!!

軍事技術に先導された科学技術は、特に情報収集技術において飛躍^{いしずえ}的發展を遂げ、高度情報化時代の礎を築いてきている。情報収集として、各国指導者の動向を人工衛星で監視することから、室内でも動向が探れ、発言を盗聴でき、その考えていることを読み、そして自由に動かせれば最高の情報収集技術となるわけで、先進各国が守秘義務の中で開発を続けているものである。これにはレーダーや人工衛星を用いての情報収集とスーパーコンピュータやAI技術を使つての解析があり、その精度とスピードは飛躍的に増しております。しかもその対象は拡大でき、米国とイスラエルにあるスーパーコンピュータを使うと同時に数百万人を監視できると言われ、全人類を対象とすることも可能になっている可能性があります。監視に加えて、人の思考を読み、自由に動かすためにサイバネティクス技術が開発され、70年に及ぶ開発の結果、その完成度はテクノロジー犯罪被害者が証言しているところであります。

当該被害者が、三欲操作、生理操作、五感操作、感情操作、疾病操作、筋肉や運動機能の操作、そして思考操作まで証言していることから、人間のあらゆる機能が遠隔からコントロールできるレベルに達していると考えられます。

他方嫌がらせ犯罪の蔓延も著しく、全国的な組織網を完成し、連絡網を完備して、マニュアルに従って行なっていると考えられます。この組織はテクノロジー犯罪で利用されている武器を使って、世相を演出するだけでなく、傀儡政権を作るために働いていると考えられます。

以上のことからテクノロジー・嫌がらせ両犯罪は被害者の問題を越えて国民的問題であります。いつでも全ての国民にこれを行なえる準備が整っていると考えます。これを放置しますと両犯罪を用いた国民絶対管理の専制時代が到来する恐れがあるとの認識で、本問題に向き合^{いしずえ}っていただきたく思います。

●各会場へのアクセス



●東京会場アクセス

東京メトロ 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口より徒歩約3分
千代田線「霞ヶ関駅」C4出口より徒歩約3分
都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A7出口より徒歩約3分
JR 新橋駅 日比谷口より徒歩約10分



●大阪会場アクセス

地下鉄中央線・JR環状線 弁天町駅 徒歩7分